

ジョブローテーション、乗務員勤務制度改悪、ダイ改合理化、ローカル線切り捨て反対！ 定年延長と65歳まで働ける職場を！

3月ダイ改に怒りの声を 常磐線10両ワンマン化反対!



JR東は12月13日、25年3月15日ダイ改実施と発表しました。ワンマン運転についても常磐緩行線・綾瀬〜取手間（10両編成）、南武線・川崎〜立川間（6両編成）のワンマン化、小海線、水郡線でのワンマン拡大、東北本線・小金井〜宇都宮間の一部E131系（ワンマン）化を打ち出しています。

安全切り捨ては許せない

これは11月に打ち出された首都圏主要7路線（常磐、南部、横浜・根岸、山手、中央・総武緩行、京浜東北・根岸、埼京・川越）でのワンマン化と「車掌1100人削減」攻撃の始まりです。これそのものが、絶対に許せません。

とくに常磐線10両ワンマン化は、初の長編成へのワンマン拡大です。首都圏・長編成でのワンマン運転は、これまでとまったく違うレベルの攻撃です。現状でも「モ

ニターでは見えにくい」という声も上がっています。「ホームドアや運転台モニタを設置したから」と拡大に踏み切るのは、完全な安全の切り捨てです。

反対の声をあげよう

JR四国は今年9月、「乗務員不足」を理由に減便に踏み切りました。さらに3月ダイ改でも、「乗務員不足」で予讃線や高徳線など計23本の減便を行うとしています。

JR北海道では23年度の自己都合退職者が236名となり過去最高を更新し続けています。19年度以来の自己都合退職者はすでに1千人を超えています。

どちらも労働条件の悪化が問題とされています。JR東は「要員不足への対応」と言いますが、ワンマン化は乗務員の負担を増やすことになります。さらに、「ワンマン化を通して社員の就労意識を『人ならではの創造的な仕事』へシフト」などと上から目線で言っています。

自ら乗務員を減らすようなことをして、「要員不足」を理由にあげるなど許せません。私たちはワンマン化・車掌削減に反対します。ともに声を上げましょう。

本年もお世話になりました。来年もよろしくお願いたします。